



せいかつか なん 生活科は何のためにあるの

きょうみ そだ かんさつ 興味をもったことを育てたり観察したりする

1992年（平成4年）4月から、小学1・2年生の生活科がはじまりました。これまでの理科や社会を廃止して、生活科としたわけです。

この教科は、身近な社会や自然を観察したり、動植物を育てたり、遊びや生活に使うものを作ったりなどして、活動の楽しさを味わっていくところに、特色があります。

まち のはら で しぜん せいかつ み 町や野原に出かけて、自然や生活のしくみを身につける

ですから、本を広げて机の上で勉強するというだけではなく、町や野原に出かけて、いろいろなものを、実際に目で見て観察したり、人にたずねたり、自分で考えてみたりしながら、自然や生活のしくみを身につけていくことが大切になります。

本に書いてあることがらをよんで、それですべてがわかったという気にならないで、書かれているものを、実際にみたり、さわったりしながら、確かめていくのです。そうすれば、より正確に、より深くものごとを知ることができるのです。

そういう勉強の仕方をしてほしいということから、生活科が生まれたのです。

（監修・保岡 孝之）

